

平和ネット・院内集会

朝鮮人追悼碑訴訟
撤去はおかしい

平和を作り出す宗教者
ネットは17日、東京都千
代田区の参議院議員会館
で院内集会を開催した。
関東大震災100年・朝
鮮人犠牲者慰霊諸行事実
行委員会の小野文汎共同
代表（群馬諸宗教の集い
代表、日蓮宗僧侶）が群
馬県内の朝鮮人等の慰霊
活動について講演した。
約30人が参加した。

小野氏は、関東大震災
の際に政府の「流言蜚語」
のため17人の朝鮮出身者

が自警団に殺された「藤
岡事件」や、高崎市の県立
公園「群馬の森」にある労
務動員された朝鮮人労働
者の追悼碑をめぐる問題
など、県内の状況を説明
し、国家や国民の責任と
向き合うことを訴えた。
「群馬の森」朝鮮人労
働者慰霊碑は、市民団体
の設置・管理許可申請を
県が不許可とし、その判
断をめぐって裁判で争わ
れた。一審の前橋地裁は
県の判断を不正としたが、

東京高裁では逆転。6月
に最高裁が市民団体側の
訴えを棄却し、追悼碑の
撤去命令が出ている。
追悼碑の建立時（20
04）に政治的行動に使
用しないとの条件が付け
られたが、追悼式での参
加者の発言で「強制連
行」という言葉や朝鮮総
連代表者の発言が問題視
され、県の不許可の判断
へとつながったという。
小野氏は、追悼碑の碑
文は合意を得たものであ
り、記憶 反省 そして
友好」とあるなど「県議
会も一致して、これは日
朝・日韓の友好になると
建てられた」と述べ、「参
加者の発言は」ひっかか
るところもあったが、個
人の責任での発言。追悼
碑の撤去まで行うのはお
かしい」と語った。



講演する小野氏

市民団体側は、県の不
当性を訴える訴訟を新た
に準備する方針で、小野
氏は「できるなら、歴史
を隠蔽したり、改竄した
りせず、傷をつけられな

いように、あと100年
は追悼碑を残していきた
い。こうした問題は我々
の中にまた差別と偏見が
残っている証拠ではない
か」と問いかけた。